

Matsumoto Universal Design

ながのユニバーサルデザイン
アイデアコンクール 2025

入賞作品集

テーマ

みんなが行きたい 利用したい
UD図書館



一般社団法人 まつもとユニバーサルデザイン研究会

ながのユニバーサルデザイン・アイデアコンクール 2025 「UD 図書館」の審査にあたって

一般社団法人 まつもとユニバーサルデザイン研究会 会長 和合 治久

一般的に、図書館には年齢や性別、言語、文化的な背景、身体的な不自由さなどにかかわらず、誰もが快適に安全環境の下、自立的に活用できる配慮が求められます。この考えはユニバーサルデザイン (UD) の基本的な理念である「公平性」「柔軟性」「直感性」「安全性」「情報の分かりやすさ」「身体的な負担軽減」に通じるものです。

今回「UD 図書館」をテーマに小中学生のアイデアを募集したところ、17 点の応募がありました。中学生からの応募がなかったために、小学生のアイデアのみの審査となりました。応募された皆様には心より厚く御礼申し上げます。

審査に当たって、UD の観点で、より多くの人々が利用しやすいか、そして小学生らしい楽しい発想があるか、の2つに着目し、審査員の皆様とともに、金賞、銀賞、銅賞を選ばせて頂きました。応募された作品には、高齢者に配慮する回転本棚、高い本棚から本を取りやすくする配慮、誰もがゆったりできる図書館など、UD の基本的な理念に合致したアイデアが寄せられており、UD 図書館を考えていく上でとても役立つ柔軟な発想であったと思います。

図書館には、公立図書館、学校図書館、地域図書館など種類に応じた規模の相違はありますが、UD の観点では、どの図書館でもすべての利用者に寄り添える安全で快適な空間、案内表示、求める資料の探しやすさ、人的・運営面のサポート体制、子供や高齢者への配慮、非常時の対応システムなどが重視されなければなりません。この意味で、今回のテーマは「UD 図書館」という幅広い内容での募集であったため、アイデアを出しづらかった面があったのかもしれませんが、今後、上述の点を再度考慮して、より具体的なテーマ（例えば、「こんな机や椅子があったらいいな」、「こんな本棚の配置があったらいいな」、「こんな音声案内があったらいいな」、「こんな案内表示があったらいいな」など）でアイデアを募集したら、小中学生からより多くの斬新なアイデアが寄せられるかもしれないと感じました。

結びに、改めてテーマ「UD 図書館」にアイデアを応募された小学生の皆さん、そして審査に関わった審査員の方々に深く感謝申し上げます。

ながのユニバーサルデザイン アイデアコンクール 2025 の審査を終えて

松本市中央図書館 主事 栗津原 準也

このたび、「UD 図書館」をテーマとした、ながのユニバーサルデザインアイデアコンクール 2025 に審査員として参加させていただきました。本コンクールでは、年齢や障害の有無、性別や文化の違いを超え、誰もが安心して利用したくなる図書館について、多角的かつ創造的な提案が数多く寄せられました。応募された皆様には心より御礼申し上げます。

図書館司書として日々現場に立つ立場から拝見し、利用者の視点に立った利便性の高いアイデアや、既存の枠組みにとらわれない柔軟な発想に大きな刺激を受けました。提案の中には、情報提供の方法、ICT や最新技術の活用、コミュニケーション支援など、今後の図書館運営に活かせる示唆が随所に見られました。

松本市図書館では、「出会う つながる ガク都の広場」を基本理念とし、いつでも誰にでも開かれた地域の情報拠点として、市民とともに進化していく図書館を目指しています。本コンクールを通じて得られた知見を、今後のサービス向上に結び付け、より開かれた図書館づくりに努めてまいります。

■応募要項

「だれもが行きたい」「利用したい」「安心して安全に過ごすことができる」そんな学校の図書館や公的図書館のアイデアを募集しました。

※試作品も可。但し未発表のアイデア、作品に限ります。





●応募資格 長野県在住の小中学生

■審査委員と審査経過

- 募集期間 2025年7月17日～10月10日
- 応募総数 17点（松本市、塩尻市、安曇野市の小中学生がアイデアを応募）
- 会員審査 2026年1月15日
- 審査員
 - 和合 治久 まつもとユニバーサルデザイン研究会 会長
 - 北原 修 まつもとユニバーサルデザイン研究会 副会長
株式会社 成進社印刷
 - 菱山 晋一 まつもとユニバーサルデザイン研究会 理事
 - 芝山 稔 まつもとユニバーサルデザイン研究会 顧問
松本市議会議員
 - 渡邊 幸夫 まつもとユニバーサルデザイン研究会 会員
パン・プランニング
 - 田中 賢吾 まつもとユニバーサルデザイン研究会 会員
綿半ソリューションズ株式会社
 - 窪田 健司 松本市中央図書館 司書
 - 粟津原準也 松本市中央図書館 司書

■審査結果

小学生部門

 金 賞	おとしよりの弱い力でも回る回転本だな
	奥山 日菜さん (宗賀小学校)
 銀 賞	高い所でも本がとれるロボット
	松崎 莉乃さん (筑摩小学校)
 銅 賞	しんせつライブラリ
	下平 深智さん (芳川小学校)
 審査員 特別賞	みんながゆったりできる図書館
	上甲 真結さん (山辺小学校)
	うごく図書館
	上原 唯さん (山辺小学校)

小学生部門

金賞

(ふりがな)

おくやま

ひな

氏名

奥山

日菜

(学校名)

宗賀小学校

作品タイトル

おとしよりの弱い力でも回る回転本だな

なぜ、このアイデアを考えたか

(ユニバーサルデザイン)

学校の図書館でUDの勉強していて回る本だなを回してみたら回しにくかったから、せの高さがちがくても回せると手やおとしよりの弱い力でも回せる本だながいいと考えた。ふみ台もつり上げ高いところにある本をとれる方がいいと考えた

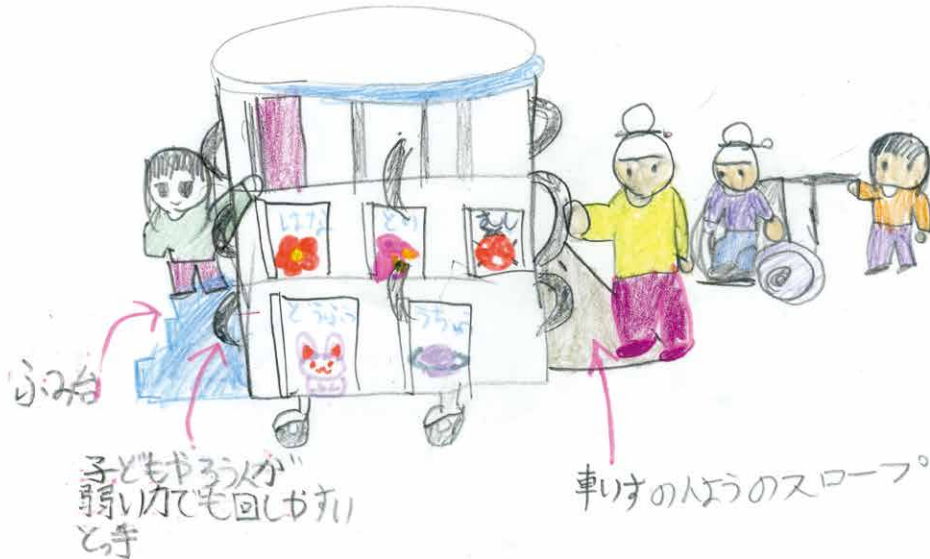
特に工夫した点

まわすときまわしやすうようにと手をつけるように考えた。重い本とフカい足でも回せるといふ考えた。子ども車いすの人も回せられる。

本のしるしはコーナが分けられている。
 学年ごとコーナーに分けられておいたの紙がならって漢字に合
 られている。
 音声と点字をほんにつければいいと思う



• かがみおすいすりかあったらいいと思う。
 • たんさがあるところはさをつくる



銀賞

(ふりがな)

氏名

まつざき

松崎

りの

莉乃

(学校名)

筑摩小学校

作品タイトル

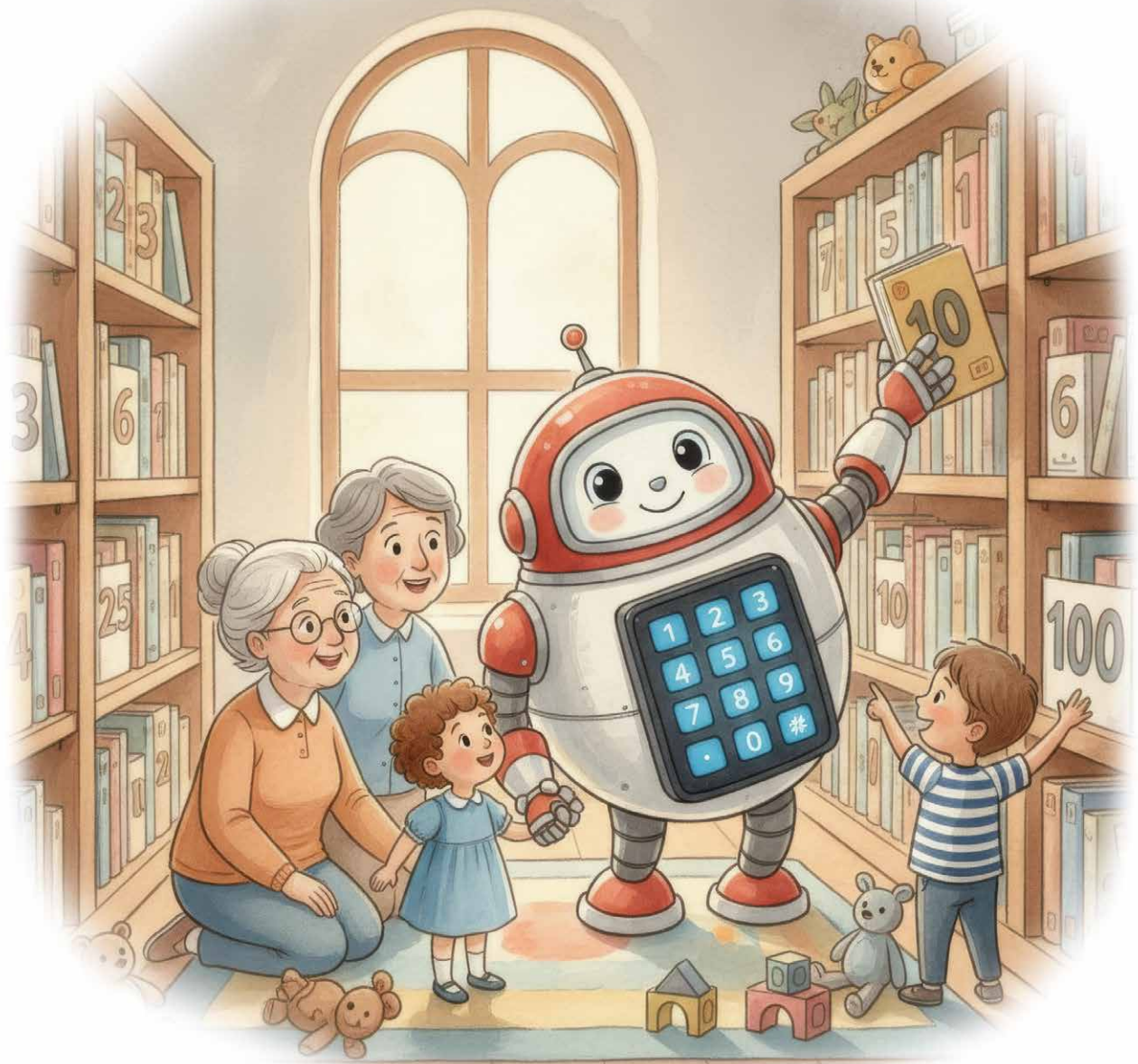
高い所でも本がとれるロボット

なぜ、このアイデアを考えたか

高い所は、子どもも、足が不自由な人も、体の弱いお年
よりもとれないことが多いと思い、本に大きく番号をかい
て、ボタンもつけ、ポチっとおせばその番号にあわせてロボットが
とってくれば、お年より、足が不自由な人、子どももとれます。
(ロボットのきのうなどは、例えばです。)

特に工夫した点

自分でも高い所の物をとるとき、せのびしてぎりぎりとれた
り、とれなかつたりするときがあり、大人にとってもうるのが多い
ので、そういうきのうもないかな?と思いました。



※このイメージは本人の制作したものではありません

銅賞

(ふりがな)

しもだいら みち

氏名

下平 深智

(学校名)

芳川小学校

作品タイトル

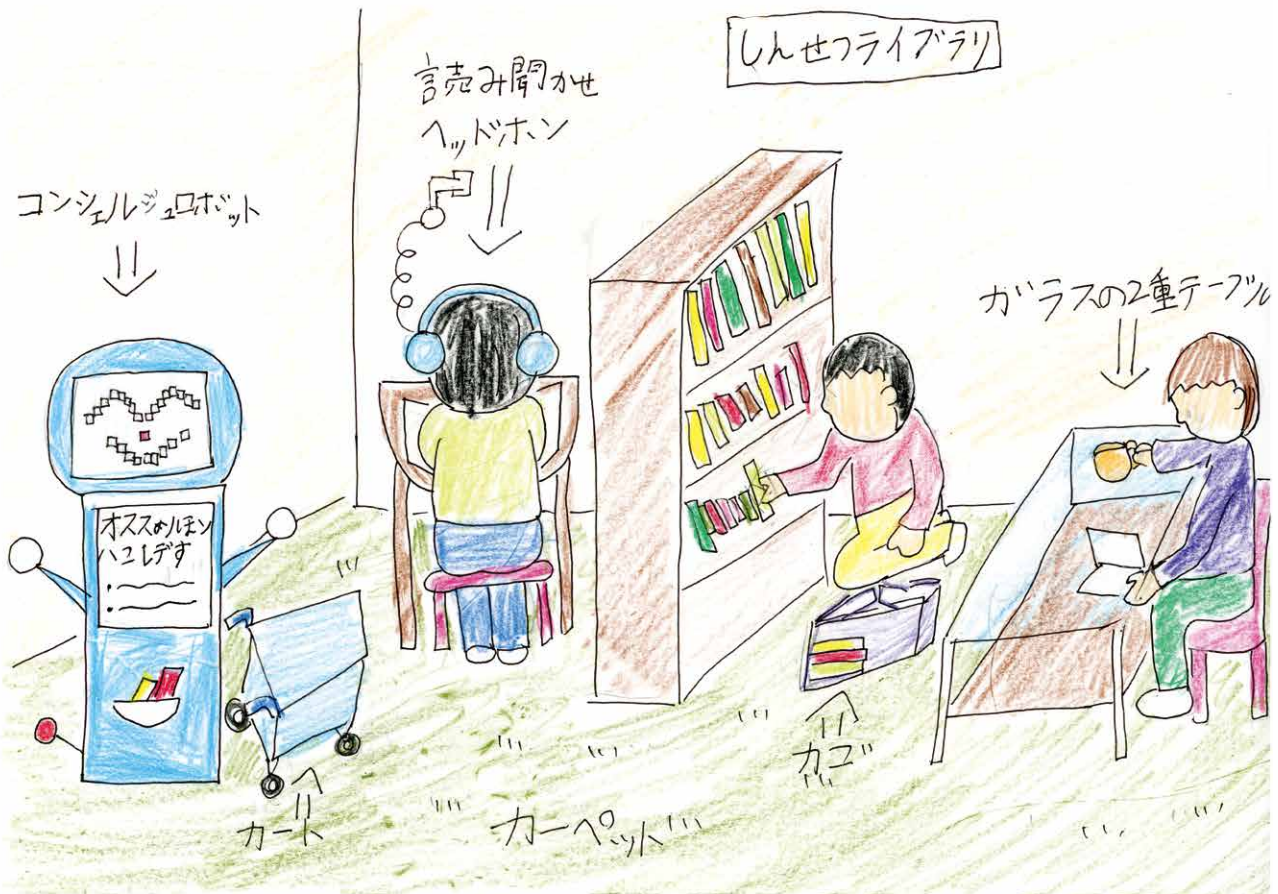
しんせつライブラリ

なぜ、このアイデアを考えたか

- おもしろくて読めなかったり、あきてしまったりするからヘッドホンで読みかしてほしいと思った。
- 本を選ぶのにまよってしまうから、おすすめの本をしょうかいしてほしい。
- たくさん本を選ぶと、いつもお母さんが重そうだから、かごやカートがほしい。
- 足音や物音が気になるから、カーペットとかで音がしないようにしてほしい。
- お茶を飲みながら読みたいから、ガラスのテーブルで、こぼしても大丈夫なようにしてほしい。

特に工夫した点

いろいろな人が来たくなるように、おもしろさを考えた。
大人も子どもも、本が好きな人もにが手な人も
来たくなるようにするために、いろいろな人にインタビューした。



小学生部門

審査員特別賞

(ふりがな)

じょうこう まゆ

氏名

上甲 真結

(学校名)

山辺小学校

作品タイトル

みんながゆったりできる図書館

なぜ、このアイデアを考えたか

ゆくりよみたいから

小学生部門

審査員特別賞

(ふりがな) うえはら ゆい
氏名 上原 唯

(学校名) 山辺小学校

作品タイトル

うごく図書館

なぜ、このアイデアを考えたか

まどごとち¹にいったら、すきなほんを¹言うて
本だながうごいて、足のわるい人でも本が¹かした¹しできるから。

特に工夫した点

いろいろな本を¹らいたのみもできるようにしたいので¹なをう
ごかすかんがえをしました。

編 集／一般社団法人 まつもとユニバーサルデザイン研究会

発行者／和合 治久

発行日／2026年3月14日（第一版）

印刷所／株式会社成進社印刷

発行所／まつもとユニバーサルデザイン研究会事務局

〒390-8611 松本市丸の内4-18 (株)テレビ信州 内

<http://matsumoto-ud.main.jp/>

Matsumoto
Universal Design